

「流山有料道路」

1)

①-1：流山 IC 建設の経緯と総事業費について

●流山 IC 建設の経緯

- 1 流山市、野田市、松戸市の各市長が常磐自動車道の IC 設置について、千葉県議会に請願書を提出（昭和60年2月）。
- 2 昭和60年2月議会において請願が採択される。その後、千葉県知事、流山、野田、松戸市長が建設省、道路公団に追加 IC 設置を要望する。
- 3 昭和61年1月21日、国土開発幹線道路建設審議会で常磐自動車道に流山 IC 設置が決定。
- 4 千葉県道路公社が県、市の要請により流山有料道路の事業化について検討を始め、昭和62年12月22日、千葉県知事より有料道路事業の同意を得る。
- 5 昭和62年12月25日、千葉県知事が常磐自動車道と県道松戸野田線との連結許可を建設大臣に申請。同時に千葉県道路公社が流山有料道路建設について建設大臣に許可申請を行う。
- 6 昭和63年1月28日、建設大臣より道路公団へ施行命令が降りる。
- 7 昭和63年3月9日、建設大臣より千葉県道路公社へ流山有料道路の建設が許可される。
- 8 昭和63年6月7日、千葉県・道路公団・道路公社・流山市が流山 IC 建設に係る基本協定締結。
- 9 平成4年3月26日、供用開始。

●流山有料道路の総事業費

総事業費	:	64億円
負担割合	:	千葉県出資金 1,967百万円
		開発者負担金 780百万円
		借入金 3,653百万円

2)

②-1 : 当初借入先と借入利率

借入先 : 国土交通省 有料道路整備資金借入金 無利率
地方公共団体金融機構 (借入当時は公営企業金融公庫)
借入利率 年利 6.4% ~ 7.1%

②-2 : 現在の未償還額 (平成21年度末)

未償還額 1,486,584千円

ゼロペロペロと確認して
無料化した。

②-3 : 低利・起債への借り換えの可能性

地方公共団体金融機構への繰り上げ返済は、補償金支払いが発生し、本来の返済期間終了までに支払う利息とほとんど変わらないため、借り換え後に発生する利息を考慮すると、結果的に、繰り上げ返済を行っても利息の軽減にならないことから、借り換えは行っておりません。

②-4 : 現在の償還計画

H21.7.22 市都市計画課回答 (流山有料道路の交通量と収入の計画と実績)

H21.8.25 市都市計画課回答「流山有料道路に係る諸数値の回答について」
にて回答のとおりです。

3)

③-1 : 早期無料化の課題と解決法について

H21.8.25 市都市計画課回答「流山有料道路に係る諸数値の回答について」
にて回答のとおりです。

流山有料道路

①平成21～34年度までの計画交通量及び計画収入 (1日あたり)

年度	計画交通量 (台/日)	計画収入 (円/日)
平成 21	10,053	1,087,700
22	10,126	1,095,400
23	10,166	1,099,550
24	10,207	1,104,000
25	10,247	1,108,100
26	10,289	1,112,950
27	10,329	1,117,050
28	10,369	1,121,400
29	10,409	1,125,550
30	10,450	1,130,000
31	10,491	1,134,250
32	10,530	1,138,250
33	10,571	1,142,700
34	—	—

流山有料道路の料金徴収期限は、平成34年3月25日(平成33年度)であるため、平成34年度の計画はありません。

②平成3～20年
(借入金返済額と)

年度	借入 (百)
平成 3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

(計)

③平成21～34
(借入金返済額と)

年度	借入 (百)
平成 21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	

(計)

(合計)

流山有料道路

年度	実績交通量 (台/日)	計画交通量 (台/日)	実績-計画 (台/日)	
平成 3	6,483	6,821	-338	
4	7,186	6,911	275	
5	9,299	7,000	2,299	
6	10,743	7,090	3,653	
7	11,878	7,179	4,699	
8	13,065	7,268	5,797	
9	13,476	7,457	6,019	
10	13,713	7,841	5,872	
11	13,804	8,324	5,480	
12	13,931	8,807	5,124	
13	13,954	9,273	4,681	
14	13,650	9,542	4,108	
15	13,273	9,614	3,659	
16	13,707	9,687	4,020	
17	14,345	9,760	4,585	
18	14,561	9,834	4,727	
19	15,152	9,907	5,245	
20	15,224	9,981	5,243	
計	227,444	152,296	75,148	
供用開始後 20年度まで の累積	83,017,060	55,588,040	27,429,020	8,

■ 年度別有料道路交通量及び料金収入

No	路線名	平成19年度		平成20年	
		台数	金額	台数	
1	九十九里	1,115,863	441,103	1,025,596	
2	松戸野田	1,598,593	282,599	—	
3	勝 浦	336,828	53,113	3,062	
4	房総スカイライン	977,478	278,154	982,047	
5	千葉外房	2,759,551	781,144	2,729,055	
6	松戸橋	4,200,255	797,673	2,318,096	
7	鵬 川	2,024,127	382,318	1,972,693	
8	東 総	670,884	137,620	673,089	
9	流 山	5,530,688	559,563	5,557,051	
10	東金九十九里	2,432,053	480,033	2,328,614	
11	銚子新大橋	1,641,605	291,036	1,674,278	
12	銚子連絡道路	1,354,132	278,466	1,417,408	
	計	24,642,057	4,762,822	20,645,529	

